

# 北 部

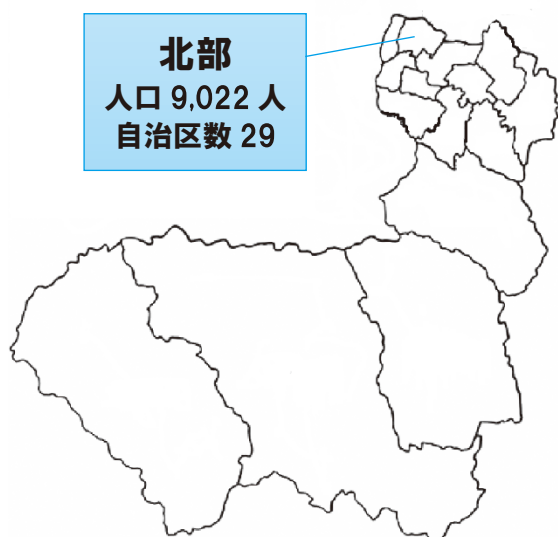
スローガン

**人の「輪」と「話」と「和」でつなぐ安心のススメ！**

**実践目標①若い世代や新しい仲間を取り込んだ顔の見える地域づくりに取り組もう！**

**実践目標②ネットワーク協議会を作ってつながいづくりをしよう！**

**実践目標③みんなで参加する安全・安心な北部をつくろう！**



北部地区は福沢諭吉をはじめ、多くの偉人を育んだ歴史と文化が今も多く残っており、また、中津市を代表とする祭りの「中津祇園」もあり、歴史を重んじ、伝統を今に引き継いでいます。

アパート等の住宅が増える中、人口増加率も高く、小学校児童数も増えています。そのような中、公民館活動と北部小学校児童との交流行事もあり、世代間交流が行われています。また、いきいきサロンや、新たに週1回の体操教室を始めるなど、住民主体の取り組みが広がっています。

	2011 (H23) 年	2016 (H28) 年	2021 (R3) 年
人口	8,015	8,652	9,022
世帯数	3,661	4,056	4,541
高齢化率	22.5%	23.4%	23.0%
一人暮らし高齢者	563	641	722
高齢者のみの世帯		1,471	1,513
0~18 歳人口	1,509	1,703	1,663

※各年ともに9月30日時点のもの(中津市の統計データより)

実践目標と理由・効果

実践目標①

**若い世代や新しい仲間を取り込んだ顔の見える地域づくりに取り組もう！**

「子育て世代の親と顔を合わせる機会がない」「世代間でつきあいがいないため情報が入ってこない」などの意見から、特に若い世代や新しい住民と関わる機会が少なく、接点がないことでお互いの情報を得られずにいることが問題点としてあがりました。昔からの行事や伝統的なお祭りへの参加者も年々減少傾向にある中、今以上に地域活動が先細りしてしまわないように、若い世代や新しい住民を地域活動に取り込み、今後の地域を共に考えていくことが必要です。多世代間で情報を共有し、顔の見える関係をつくることは、地域の絆を深め、希薄になった地域のつながりを再生することにつながります。

実践目標②

**ネットワーク協議会を作ってつながりづくりをしよう！**

3次計画の実践目標にある「防災ネットワーク」が北部地区ではすでに立ち上がっています。その取り組みを通じて、広く住民に意識啓発をしていくためには防災に限らず、防災を含めた北部地区全体の地域の活動や情報を共有する場や、取りまとめる組織の必要性も出てきました。今回、4次計画の策定を通じて、防災を含めた地域福祉全体のつながりとして、北部地区の様々な住民団体や学校などの関係団体がお互いに情報共有する「ネットワーク協議会」をつくり、顔の見える関係づくりを進めます。

実践目標③

**みんなで参加する安全・安心な北部をつくろう！**

「災害はいつどこでおきるかわからない」「高齢者が多く避難時が不安」「水害が特に心配」などの意見がでました。毎年決まって起こる冠水被害などから、防災意識の高い北部地区では、自治委員、民生委員、消防団、防災士をメンバーに自主防災組織を立ち上げ、「自分たちでやる」という意識のもと、継続した防災活動を目指しています。このような防災の動きと、地域全体のネットワークが連動することで、防災意識と共に、住民のひとり一人の意識がつながり、住民同士の和を広げていくことは、安全安心な地域づくりにつながります。

**他にも出ましたこんな課題!!**

一人暮らしの人を  
支えよう

フードバンクを  
周知する



障がいのある人も  
安心して暮らせる  
環境づくり

気軽に相談出来る  
人・場所をつくろう

【北部】

活動内容	進 捗				
	R4	R5	R6	R7	R8
誰もが気軽に参加出来るサロンや井戸端会議の場をつくる					
地域デビューの場所づくり（行きやすい集まりやすい場所をつくる）					
いつでもだれでも参加できるという周知を行う					
参加しやすい町内行事で親子へ呼びかけをする					
地域ごとの集会所も地域の人との交流の場として活用する					
交流を深めるためのイベント（祭り等）を開催する					
他地域から入ってきた人達を巻き込んだ交流を考える					
世代間でお互いのことを知り、協力しあえる仕組みをつくる					
ネットワーク協議会をつくる					
地域の身近な情報を発信する情報誌を作る					
キーマン（お世話役）をつくる					
公民館をより広い世代の拠点にする（社会教育助成金の活用）					
見守り体制を見直す					
自治委員と民生委員の情報交流の場をつくる					
今ある情報誌を活用しながら、情報発信の方法や手段を考える					
ネットワーク協議会で移手段や防災の活動をテーマに考える					
有償サービスで支え合いにつなげる					
実際に想定しての訓練を繰り返し実施する					
自分たちで考える避難所、自分たちで行う訓練を実施する					
専門知識を持つ人を増やす（防災士など）					
要援護者の情報などを共有する					
日頃から声かけや見守りができる隣近所との関係をつくる					
参加しやすい、自主訓練しやすい体制をつくる （消火器等訓練用具の無料レンタルの利用）					
ワンランクアップした防災の取り組みを消防署と連携して行う					

心のバリアフリーで  
手助け

生ゴミの出し方に  
気をつける



キーマンの存在が  
必要

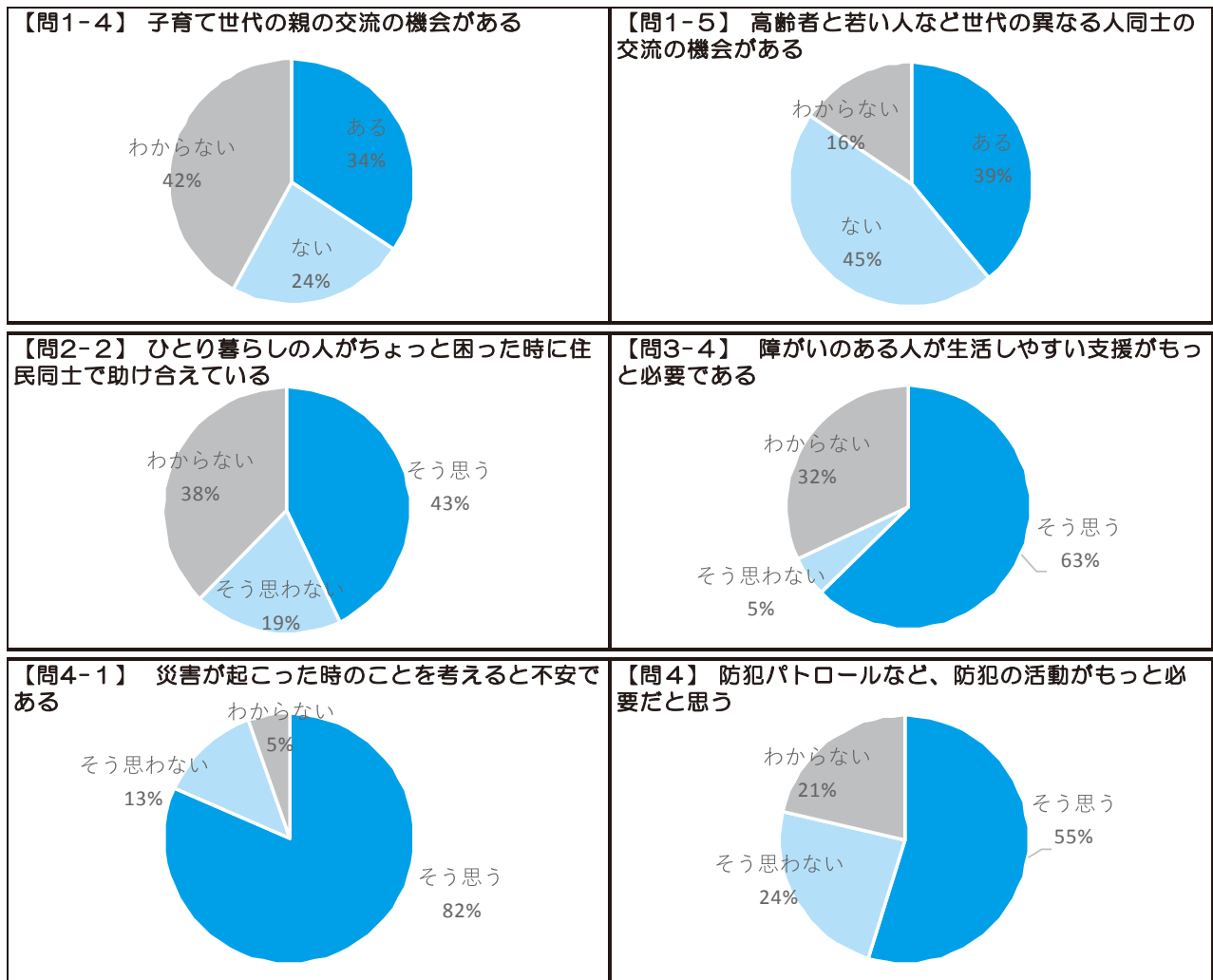
地域全体で  
水路の清掃を考える

## 第4次の実践目標はこうして決まりました

北部地区の「地域のつながりアンケート」結果

回答者数	78人（男性36人/女性41人/無回答1人）
回答者年代	中学生・高校生：11人、20代：3人、30代：1人、40代：3人、50代：5人、60～64歳：7人、65～74歳：32人、75歳以上：15人

内容抜粋 無回答分は除いています



### アンケート結果から作業部会で出た意見(課題)

- ・地域の誰もが気軽に館長室に来てお茶を飲みながら話ができる場づくり
- ・障がいへの理解や対応の仕方を知る機会をつくる（勉強会などの開催）
- ・誰もが移動しやすい環境づくり
- ・相談できる場所や人についての情報提供をする
- ・地域で親睦会をする
- ・ひきこもりさせない地域づくり（気が付く地域）
- ・成年後見制度についての相談窓口をわかりやすくする
- ・気軽に何でも聞ける窓口を公民館などわかりやすい場所につくる
- ・警察から自治委員へ犯罪情報を提供してもらい、地域へ情報提供する



## 作業部会で出された、北部の地域福祉活動の良いところ

- ・子どもたちがクラブ活動（安心していける場所）に行くのをよく見かける
- ・お祭りや子供会が中心となり交流している（多世代で楽しめるイベントがある）
- ・近所同士良い関係（つながりがある）地区もある
- ・公民館活動やサロン、週一体操が交流の場や機会となっており参加する人も多い
- ・地域のお祭り（中津祇園）が多世代交流の機会となっている
- ・自治委員、民生委員を中心に、地域で気になる人に声をかけあっている
- ・月に1回防犯パトロールをおこなっている
- ・登下校時の見守り活動が交流の機会となっている
- ・自治会単位で避難訓練を実施している

## 様々な意見をもとに作業部会で、整理をし、第4次地域福祉活動計画を作っていました



## 北部の社会資源

(R3年度現在、登録状況や作業部会の方々の意見を参考に作成しています)

### お宝 (住民による住民のための支え合いや参加を進める活動のことです)

住民同士の 交流・つながりの場	いきいきサロン (2)	北部校区なぎさサロン (毎月第3土曜・新大塚老人憩の家) よねやまセルフサロンふれ愛 (毎月第1/3土曜・米山老人憩の家)
	週一体操教室(4)	あじさいクラブ (毎週木曜・蛸瀬集会所) ※蛸瀬八坂神社境内 米山めだか体操クラブ (毎週火曜・米山老人憩の家) ゆきちげんきの会 (毎週金曜・北部集会所) さんさん体操クラブ (毎週水曜・北部公民館)
北部で活動する地域ボランティア	中津地区更生保護女性会北部校区 中津北部歩こう会	
住民型有償サービス	北部えがおサービス	
防災活動	北部校区自主防災会 中津市防災士協議会北部部会 消防団	
防犯活動	北部校区防犯パトロール隊	

### 関係機関が主催する交流の場・社会貢献活動

名称	主催	対象・内容
オレンジカフェむらかみ	地域包括支援センター 村上	認知症の方やその家族等が気軽に参加できる場
かきぜdeキッチン (子ども食堂)	いずみの園かきぜ サポートセンター	主に北部地区の方対象 毎月第3土曜日

### 地区内の相談窓口

高齢者の生活全般に関する相談窓口	地域包括支援センター (高齢者相談支援センター) 村上
民生児童委員による心配ごと相談窓口	毎月第2月曜 13:00 ~ 16:00 北部公民館

その他の相談は、社会福祉協議会または市の総合相談窓口 (P.153参照) にお問い合わせ下さい